

公立の受検方法について(中期)

今回は、公立高等学校の中期選抜について説明します。

中期選抜

3月上旬に実施。

(報告書は3年間の評定で4教科が2倍になったものを使います)

学力検査(国語、社会、数学、理科、英語)を実施します。報告書および学力検査の成績を総合的に判断し、合格者を決定します。

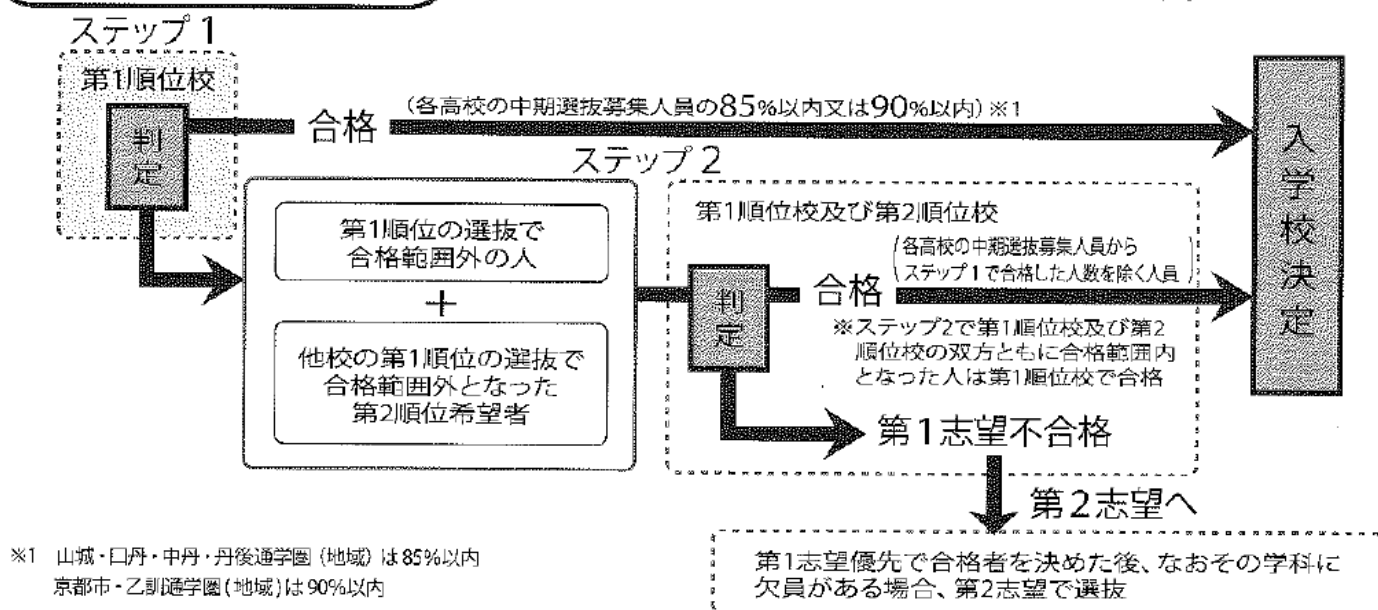
第2志望まで志願できます。なお、全日制課程については第1志望に順位をつけて、異なる志願先を2校または、2学科、系統まで志願できます。

第2志望については、第1志望優先で合格者を決めた後、なおその学科に欠員がある場合、第2志望で選抜を行います。



選抜方法(全日制課程)

※定時制課程については、選抜要項でお示しします。



公立高校は入学定員がしっかりと決まっているので、合格したら絶対に入学してください。

第2順位までに入らなければ、公立高校は不合格となります。その時に、進路先が決まっていなければいけないので、もしもの時に備えて、公立高校を第1希望でも、**併願先に私立高校を受験**することをお勧めします。

後期選抜は毎年の傾向では、全日制に定員割れがないので、定時制しかないことが多いです。
(最近の3年間では全日制も数校ありました。)